

村づくりりに貢献しています

平成23年度

各種団体決算報告

スポーツ、福祉、交通安全、衛生それぞれの分野で私たちの暮らしをサポートし、村づくりりに貢献している4団体の平成23年度決算がこのほどまとまりました。

社会福祉協議会

「地域福祉の推進を図ること」を目的として、さまざまな細かいサービスを提供している榛東村社会福祉協議会。

5月25日に開催された評議員会において、平成23年度の事業報告および収支決算が承認されましたので、その概要を紹介いたします。

社会福祉協議会は、一般会計、高齢者能力活用センター特別会計、ふれあい館特別会計、福祉センター特別会計の4つの会計により運営されています。

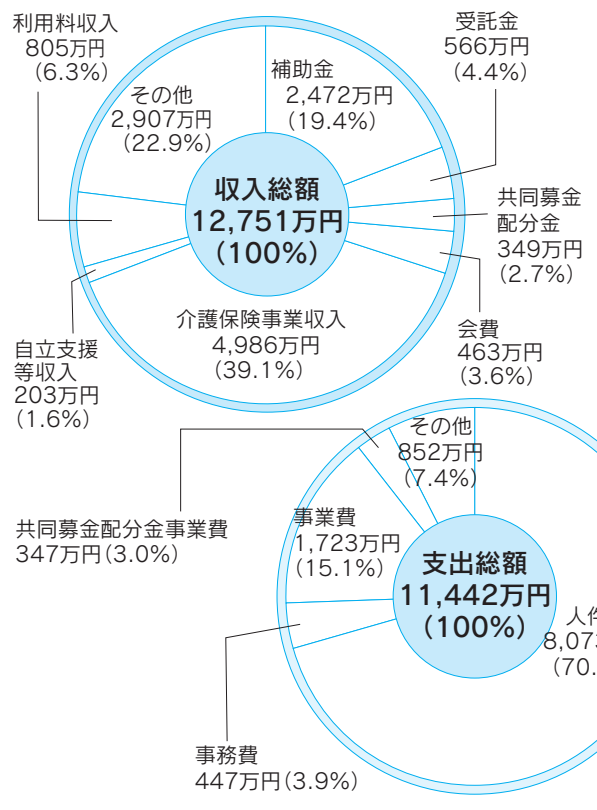
以下、それぞれの会計の決算の概要をお知らせします。



▼一般会計

一般会計の収入総額は1億2,751万円、支出総額は1億1,442万円です。

収入の中の補助金は、村から2,472万円交付されました。受託



金566万円は、村支出の一人暮らし老人などへのサービス事業受託金が大部分を占めていて、共同募金配分金収入は349万円でした。

また、要支援者および要介護者に居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴介護事業などを行う介護保険事業収入が4,986万円で、利用料収入が805万円で、

次に支出として、人件費が8,073万円、事務費が447万円、復興支援ボランティア事業などの事業費が1,723万円となっています。

また、老人福祉活動事業や生活支援事業などを行う共同募金配分金事業費が347万円となっています。

なお、収入総額と支出総額の差額1,309万円は次年度に繰り越されます。

▼高齢者能力活用

センター特別会計

平成9年4月1日に開設された同センターの主な収入は、事業収入が1,964万円、村からの受託金収入が355万円で、主な支出は、事業費が1,918万円、人件費と事務費が合わせて430万円でした。

平成23年度と同センター会員数は65名(平均年齢71・5歳)で、植木の手入れや草刈り・除草など総受注件数は562件でした。

▼ふれあい館

特別会計

平成21年12月に温泉の供給が再開した、しんとう温泉ふれあい館。

平成23年度における開館日数は310日で、入館者数は10万912人でした。

この会計の収入は、入館料が3,106万円、手数料が866万円、村からの指定管理料が2,369万円で、収入総額6,341万円でした。

一方、支出総額は同額の6,341万円で、全額がふれあい館の運営費でした。

▼福祉センター特別会計

平成13年5月に障害者の自立支援などを目的に運営を開始した福祉センター「ささえの家」。この会計の収入は、村からの指定管理料など2,635万円でした。

一方、支出は、心身障害者デイサービス事業などの事業費が543万円で、人件費と事務費が合わせて1,608万円でした。

収入の予算額と決算額の差額については、平成24年度へ繰り越されます。

平成23年度は、プラスチック製フオークの袋詰め作業や自ら育てた花の販売事業などを行いました。

事業の概要

企画広報事業

○地域福祉活動計画策定

○安心カード設置事業

○しんとう便利電話帳事業

○感謝状贈呈

○広報紙第25・26・27号発行

○福祉教育

○母子・父子・児童福祉事業

○若年母子・父子家庭激励旅行

○老人福祉事業

○ふれあい・いきいきサロン事業(21地区 245回開催)

○敬老はがき励まし事業

(小学生からお年寄りへ励ましの手紙を送付)

○敬老会を村と共催

○慶祝訪問記念品贈呈

○小学校運動会老人招待事業

(運動会へお年寄りを招待)

○生きがい対策事業

(花いっぱい運動への協力)

○世代間交流事業

(竹馬づくり、凧づくり等)

○一人暮らし老人サービス事業

・配食サービス

(延べ709食)

・新春おせちサービス

(保育園児からの手紙を添付)

・ふれあい交流会

・保養事業

○寝たきり老人および在宅介護者等事業

・寝たきり老人布団丸洗い事業

(利用者延べ43名)

・在宅介護者教室

(参加者26名)

○障害福祉事業

○健康教室を教育委員会と共催

(6回延べ83名)

○遺族支援事業

○戦没者慰霊祭を村と共催

○遺族靖国神社参拝事業

○相談事業

○心配ごと相談・法律相談を月1回開設

○ボランティア事業

○応急手当普通救命講習会開催

○ボランティア視察研修会

○東日本大震災・新潟福島豪雨災害ボランティア事業

○歳末たすけあい事業

○シルバー人材見守り事業

(下校見守り 会員18名)

○子育て支援事業

○福祉機器貸付事業

○寝たきり老人、身体障害者への介護負担の軽減になる介護用ベッド、車いすなどの介護用具を無料で貸与

○福祉団体活動援助

○長寿会、身体障害者自立更生会など7団体へ補助金を交付

○介護保険事業

○居宅支援事業

(ケアプラン作成など)

○訪問介護事業

(ホームヘルプサービス)

○通所介護事業

(デイサービス)

平成23年度 善意銀行

平成23年度中に善意銀行へ寄せられた物品や浄財を寄付していただいた方々を紹介し、善意銀行運営状況を報告させていただきます(順不同、敬称略)。

【物品の部】

岩崎弘子(10区).....	タオル
高山ちよの(3区).....	ぞうきん
一倉富美子(13区).....	紙おむつ、パット
岩田右二(2区).....	手ぬぐい、タオル他

【浄財の部】

匿名.....	24,943円
榛東カラオケ愛好会長 安田好男.....	30,000円
匿名.....	19,776円
第18区夏祭り実行委員会.....	5,403円
匿名.....	20,000円
(株)オーケーコーポレーション.....	500,000円
産業祭福祉バザー売上げ.....	214,255円
福祉バザーチャリティーボックス.....	2,000円
真下尊富(11区).....	10,000円
高山ちよの(3区).....	30,000円
楽集センター親善ゴルフ.....	120,000円
匿名.....	25,726円
八木新一(5区).....	10,000円
匿名.....	20,000円

交通安全会



お知らせします。

事業と活動の概要は、次に示すとおりです。年間を通じて、交通事故を未然に防ぐ各種事業に取り組みました。

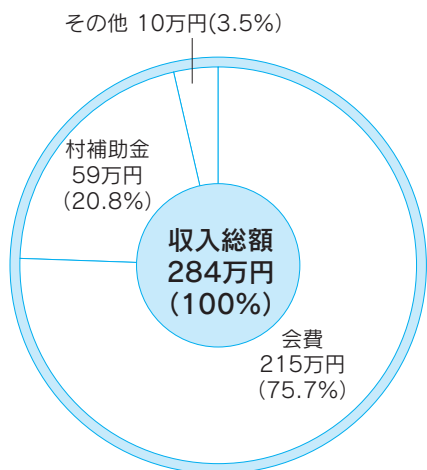
決算の状況は、左の円グラフに示したとおりです。歳入の中にある会費収入は、皆様のご家庭から納めていただいた年間5000円の会費のことです。村からの補助金は、58万8,000円となっています。

榛東村交通安全会は、村内の全世帯が会員となり、会員一人ひとりが自分たちの力で交通事故・交通違反の撲滅を図るために組織されているものです。

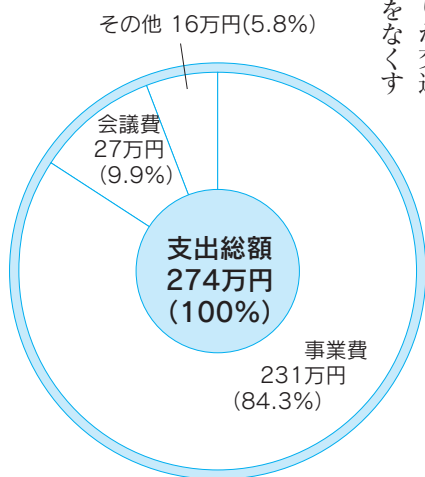
この交通安全会の平成23年度における活動と決算の報告について

平成23年1月から12月までの1年間における本村の人口10万人あたりの交通事故第一当事者数は、1,113人でした。これは、県内で1番多い人数でした。

今後も皆さん一人ひとりが交通安全を意識し、交通事故をなくすよう努めましょう。



※収入と支出の差額
10万円は次年度へ



主な事業

- ◆ 交通安全一斉街頭指導
- ◆ 交通安全夜間パトロール
- ◆ 交通安全街頭指導ならびに交通指導車によるモーニング広報
- ◆ 保育園・幼稚園親子安全教室
- ◆ 小・中学校交通安全教室
- ◆ 優良自動車運転者の申請取りまとめ(春・秋の計2回)
- ◆ むらづくり祭などの各種イベント開催時における駐車場などの整理
- ◆ 高齢者交通安全教室
- ◆ カーブミラー清掃(村内全カ所)
- ◆ 広報「やまゆり」の発行
- ◆ 高齢者宅へ「交通安全よびかけ」訪問活動を実施

渋川交通安全協会から

「優良自動車運転者表彰」申し込みのご案内

渋川交通安全協会では、「平成24年度秋の優良自動車運転者」表彰候補者の取りまとめを次のとおり行います。各表彰基準に該当する方は、各区の交通安全理事(別表参照)にお申し込みください。

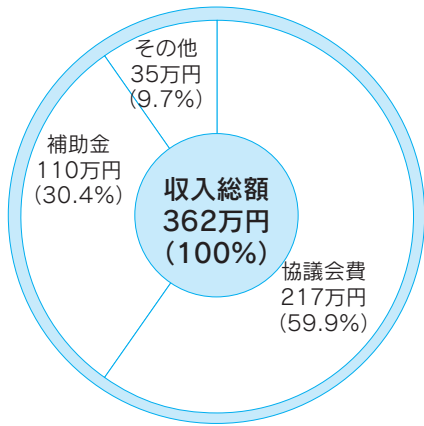
- 金章：15年以上無事故無違反の方
 - 銀章：10年以上無事故無違反の方
 - 銅章：5年以上無事故無違反の方
- 費用：700円(無事故・無違反証明書代金)を添えて申請してください。
- 申請後、受章の日までに交通事故・交通違反など法令違反を犯した場合等は表彰されません。
- ▼ お問い合わせは、渋川交通安全協会(☎22-1125)、または役場総務課(☎54-2211内線255)へ

別表：各区の交通安全理事

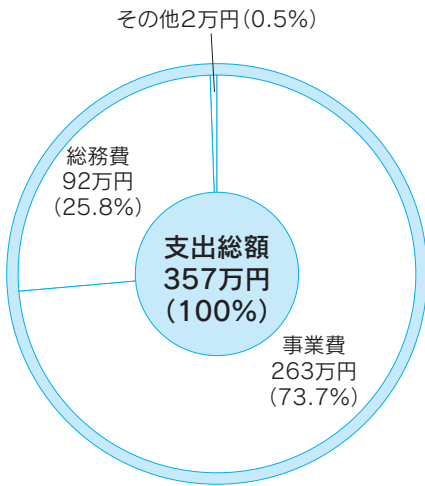
(敬称略)

区-班	氏名	区-班	氏名
1区-3班	石川 一郎	12区-6班	蜂巢 實
2区-2班	岩田 俊彦	13区-1班	清水 武
3区-5班	本間 久義	14区-9班	掛川 衛
4区-4班	齋藤 圭司	15区-7班	富澤不二夫
5区-3班	狩野 博幸	16区-5班	宿原 一仁
6区-10班	大森 潔	17区-10班	田村 啓一
7区-6班	高橋 茂	18区-1班	狩野 鍊也
8区-4班	浅見 靖雄	19区-8班	大山 福二
9区-4班	黒澤 濟	20区-16班	神田 昭良
10区-2班	岩崎 誠	21区-7班	新井 守
11区-6班	高橋 武		

環境美化推進協議会



※収入と支出の差額
5万円は次年度へ



環境美化推進協議会は、村民の皆様さんと協力して住みよい榛東村を創り上げていきます。

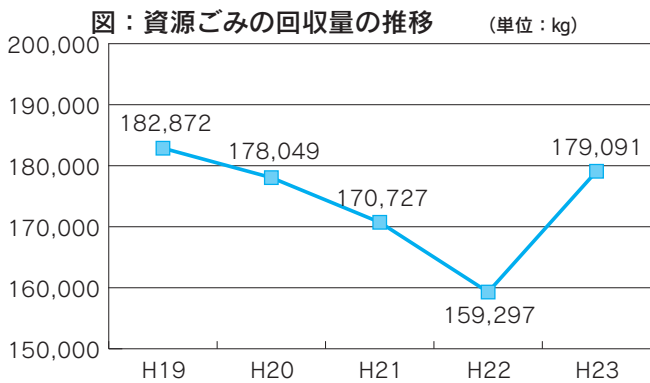
決算は、左の円グラフに示すとおりです。歳入の中の協議会費は、みなさんのご家庭から納めていただいた年間500円の協議会費です。補助金は、村から65万円、県から35万円、(社)群馬県環境保健組織連合会から10万円となっております。

私たちは毎日、多くのものやエネルギーを消費して生活しています。この日々の生活に伴って、目に見えるところで、また見えないところで様々なごみが排出され続けています。このような課題を解決していくために、廃棄物の排出を抑制し、そのうえでリサイクル

を推進していく社会、すなわち循環型社会への転換を図っていかなければなりません。

そこで渋川地区広域市町村圏振興整備組合では、容器包装リサイクル法にもとづき、ごみの分別収集を行っています。榛東村でも、平成12年度からガラスビンやペットボトルの分別収集が開始されています。リサイクルを進め、循環型社会をつくるため、みなさんのご協力をお願いします。

環境美化推進協議会では、快適で住みよい地域社会の実現を図るため、自主的な組織活動を展開するとともに、村が実施する環境衛生行政を積極的に支援し、地域連帯のなかでの環境づくりに努めていきます。



平成23年度団体別資源ゴミ収集実績 (単位：kg)

2区育成会	7,081	12区育成会	1,125
4区育成会	5,386	15区育成会	15,223
5区育成会	19,351	16区育成会	13,154
6区育成会	20,239	17区育成会	12,558
7区育成会	4,933	18区育成会	9,178
8区育成会	18,670	19区育成会	14,109
9区育成会	13,690	20区育成会	140
10区育成会	6,570	21区育成会	6,734
11区育成会	10,009		
第20区地域環境リサイクル活動部			421
榛東村ボランティア連絡協議会			520
合計			179,091

資源ごみの分別回収にご協力を

資源ごみの自主回収における、平成23年度の収集実績は、前年度に比べ、19,794kg増加しました。現状では、ペットボトル・ビン類などの資源ごみが可燃や不燃ごみとしてゴミステーションに捨てられている様子が見受けられます。資源ごみはごみではなく、様々なモノに生まれ変わる資源です。

月1回の資源ごみ回収はもちろん、各区の育成会などボランティア団体が行っている資源ごみの自主回収を活用し、「リサイクルの促進・ごみの減量化」のために、村民皆さまのご協力をお願いいたします。

◆主な活動は

- ◆粗大ごみ搬出立会い(年12回実施)
- ◆不法投棄ごみ一掃クリーン作戦
- ◆資源ごみ搬出立会(各回収日実施)
- ◆ごみの出し方パンフレットの作成・配布など
- ◆環境祭の開催

体育協会



『いつでもどこでもみんなですぽーツ』を合い言葉に、榛東村の体育協会では、毎年、各種のスポーツ大会を開催しています。

この体育協会の平成23年度における事業と決算の報告が、4月11日に行われた定期総会において承認されました。

収入と支出の状況は、下のグラフに示すとおりです。収入の中にある会費収入は、皆さんのご家庭から納めていただいた300円の年会費のことです。支出の中の大会派遣費は、郡や県大会などへの選手派遣費です。

各専門部へ補助金として127万円、各区の支部へ普及振興費として53万円を支出しました。



榛東村スポーツ推進委員

昨年、「スポーツ振興法」が約50年ぶりに全面改正され、「スポーツ基本法」となりました。これに伴い、教育委員会が委嘱している「体育指導委員」の名称が「スポーツ推進委員」へと変更になりました。職務については、従来のスポーツ実技の指導及び助言に加え、スポーツ推進事業の実施に係る連絡調整の役割を担うことが盛り込まれました。

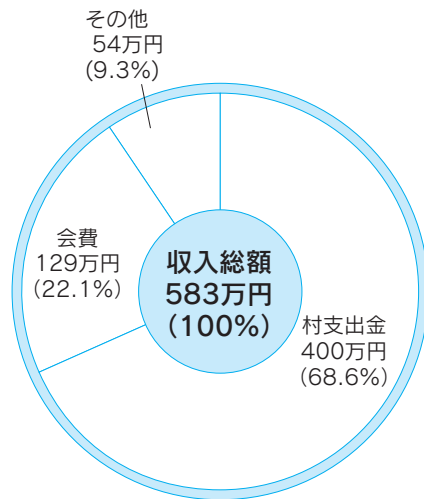
しんとうスポーツクラブの運営やニュースポーツの普及・推進、体育協会の参与としての活動など、地域の皆さんの健康・体力増進を図るための活動をしていただきます。

榛東村スポーツ推進委員名簿

役職	氏名	役職	氏名
委員	深津 明	委員	松下 誠二
委員	酒井 覚	委員	北田 直美
副委員長	岡本 直美	委員	内田 典之
委員長	岡本 幸生	委員	堀川 信子
委員	高橋 正子	委員	萩原 敏夫
副委員長	狩野 郁夫	委員	南 雲 昭吉



(前列左から深津氏、後列左から松下氏)



※収入と支出の差額 38万円は次年度へ

